

三島由紀夫原作 近代能楽集より

オペラ

卒塔婆小町

作曲 フラソソワ・ファイト François Fayt

企画・演出・主演 小林真理

2025年

10.26 (日) 開場 14:30 / 開演 15:00

10.27 (月) 開場 18:30 / 開演 19:00

学習院創立百周年記念会館小講堂

チケット

一般券: 4,000円 25歳以下: 2,000円

電子チケット窓口

<https://kobamariamical.stores.jp/>

チケット窓口・お問い合わせ

yukominchin@gmail.com

03-3705-4413 (安江)



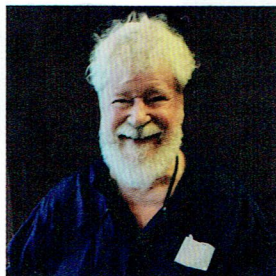
主催 小林真理リサイタル実行委員会 共催 学習院大学フランス語圏文化学科

助成 一般社団法人ビトウイン・ミュージック・タイズ、THE ASAHI SHIMBUN FOUNDATION、
Association Amitiés Franco-Japonaises

フランソワ・ファイト作曲 オペラ「卒塔婆小町」について

東京のアベックのよく来るとある公園、1人の汚らしい老婆がたばこの吸い殻を拾っている。そこへ少し酔った詩人まがいの若者がやってきて、アベックのためのベンチを老婆が毎晩1人占めにするのを非難し、2人は会話を始める。老婆は現在98歳、昔は小町と呼ばれて鹿鳴館の舞踏会で深草少将も夢中になった美女だったこと、彼女を美しくと讚えた男達はみんな死んでいったことを語る。最初はその話を嘲笑っていた詩人は、段々に老婆の話に引き込まれてゆき....

世界中に翻訳されている三島由紀夫の作品の中から近代音楽集の「卒塔婆小町」のマルグリット・ユルスナールの仏訳にフランソワ・ファイトが小林真理のために2020年に書いたオペラは2023年に京都文化博物館の別館ホールで初演された。好評につき、三島由紀夫の生誕100年の今年にゆかりのある、学習院の小講堂で再演される。(日本語字幕付き上演、50分) 照明: 磯貝幸男



フランソワ・ファイト François Fayt 作曲家

1946年、カルヴァドス生まれのフランス人の作曲家。ヴェルサイユのコンセルバトワールとエコールノルマルでピアノをチックリーニから学び、ミシガン大学のエウジェン・クルツ教授より作曲を学ぶ。1984年にマルセイユの国立劇場の演劇作品の音楽を作曲し始め、シャゼリゼにロンボアン劇場で初演されたオペラ「5月の木」、ピアニストのジャン・マルク・ルイスダとオーストラリアの四重奏団からの委嘱作品、ドイツのエルフルト国立劇場で初演されたオペラ「黒い血」その他数々の作品を作曲しているフランスの現代作曲家の1人である。



Photo: Marta Kohler

小林 真理 メゾ・ソプラノ

鎌倉市生まれ 10歳より声楽を中村浩子女史に師事。東京芸術大学音楽部声楽科、大学院を卒業後、フランス政府給費留学生としてパリの国立高等音楽院に入学。レジーヌ・クレスパン、ウィリアム・クリスティに師事。在学中よりフランス国営放送などの現代音楽の初演をつとめ、卒業後パリの歌曲コンクール、クレルモン・フェロンのオラトリオ・リートコンクールらで受賞しバロック、オペラ、現代曲、映画音楽、CD録音と幅広いジャンルの活動を始める。その後進学した東京芸術大学博士課程においてメシアン、ハイドン、モーツァルトの演奏と論文で博士号を取得する。P・ブーレーズ、佐渡裕、J・テート、M・ロストロポーヴィッチ、J・C・スピノジらの指揮者のもとで歌い、ヨーロッパのみならず、アメリカ、オーストラリア、ポーランドなどのフェスティバルでソリストを勤めている。2004年よりストラスブル地方国立音楽院の音楽の専任教授になり、ボルドー近郊ウルタンのアカデミーやワイマール音大でマスタークラスを行い後進の指導にも情熱を注いでいる。日本での演奏活動も増えてきて新日フィルとの第九のソロ、大原美術館のギャラリーコンサート、津山国際音楽祭でのマーラーのリサイタルなど歌っている。湘南日仏協会会員、日仏現代音楽協会名誉会員。

公式ブログ <https://marie.groupe-chene.com>

女1 加藤智子 メゾ・ソプラノ

東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。中村浩子、永井和子各氏のもとでフランス歌曲を中心に研鑽を積む。卒業後はフランスにて、小林真理、アントワヌ・パロック、エディット・セリグ各氏に師事。現在は、ギターと歌のコンサートなど、意欲的に演奏活動を繰り広げている。現在は小林真理に師事。

女2 嶋村純子 ソプラノ

京都市立芸術大学大学院声楽専攻修了。ウィーンにてRuthilde Böschに、スイスにてBarbara Fuchsに師事。チューリヒ音楽院オペラコース、ビール市歌劇場オペラスタジオにてオペラを学ぶ。スイスでの活動のほか、劇団四季にて「キャッツ」や「オペラ座の怪人」主演クリスティーヌで出演。現在は小林真理に師事。



詩人、男1 リオネル・サドゥン Lionel Sadoun バリトン

法律や経済を大学で学んだあと、デジタル系の会社を設立して傍ら歌の勉強を続けている。2019年ストラスブル地方音楽院のディプロムコース、小林真理のクラスに入学し、2022年5月卒業資格を得る。2021年にはエチエンヌ・フェレの指揮によるJ・シュトラウスのオペレッタ「こもり」のファルケ博士役で、アルザスの劇場で数回公演する。2022年秋には同じ指揮者でF・レハールのオペレッタ「メリー・ワイドウ」のミルコ・ツェータ男爵役を歌う。

男2 寛明絵 メゾ・ソプラノ

愛知県立芸術大学大学院声楽専攻修了。在学中よりフランス歌曲に興味を持ち、渡仏。エコールノルマル音楽院、ボーヴェ音楽院、ストラスブル音楽院にて研鑽を積む。神田詩朗、エディット・セリグ、小林真理の各氏に師事。在仏日本人会女声合唱団も指揮者。



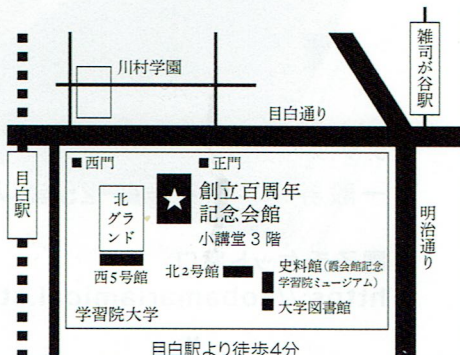
Photo: Shigeto Imura

ピアノ 松田 琴子

東京に生まれる。2009年に旧都立芸術高校、2013年に桐朋大学音楽学部、2023年にラン高等芸術学校を首席で卒業、ストラスブル音楽賞を受賞。フランス現代音楽界の重要な作曲家のひとり、ユグ・デュファールのCD『ピアノソロ曲全集』に参加。フランス国営放送で放送されるなどの高い評価を得る。アンサンブルピアニストとしてはサントリーホールオペラアカデミーで研鑽を積み、歌手をはじめ様々な楽器とヨーロッパ各地で演奏活動を行うほか、現在ストラスブル地方音楽院また大学にて伴奏教育として後進の指導に力を注いでいる。

ヴィブラフォン 沓野勢津子

京都市立芸術大学音楽部を首席で卒業。ロームミュージックファンデーション奨学生としてボストン音楽院に留学、同大学院卒業。第31回日本管打楽器コンクールマリリン部門第1位受賞をはじめ数々の賞を受賞。現在、京都市立京都堀川音楽高校講師。国内最大マリリンメーカー「こおろぎ社」アーティスト。



学習院創立百周年記念会館

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 学習院大学内

TEL: 03-5992-1046

<https://www.gakushuin.ac.jp/houjin/kikaku/map>